

学校の再開にあたって

校長 森 和 久

新型コロナウイルスの感染拡大防止のための長期間の休校となりましたが、ようやくの学校再開です。子どもたちも待ち遠しかったかと思います。現在、この地域の状況はかなり安定してきてはいるものの、もちろんまだ安心できるような状態には至っていません。今後とも、感染防止に、細心の注意を払い、かつ充実した学校生活を送ることができるよう努めて参りたいと存じます。保護者の皆さまには、例年通りでない面が多々あり、ご不便をおかけすることが多いかと存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、学校の再開にあたり、本校の本年度これまでの対応について以下にふり返らせていただきます。

- ・ 4月2日(木)3日(金)を臨時的登校日とし、前学年のまとめ、学級編成、教科書配布等を行う。
- ・ 4月6日(月)学級ごとに入学式を実施。
- ・ 4月7日(火)より休校開始。4月10日(金)までを自主登校期間とする。学童での受け入れ開始。
- ・ 4月10日(金)オンライン授業開始。
- ・ 4月13日(月)学童におけるオンライン学習、専科教員による学習開始。
- ・ 4月20日(月)ドリル類等の発送。
- ・ 4月24日(金)5月31日までの休校延長を決定。
- ・ 5月7日(木)～15日(金)担任より児童宅へ電話連絡。
- ・ 5月20日(水)～29日(金)6日間で、一人あたり2回となる分散登校日を設定。
- ・ 6月1日(月)学校再開。

こうして見て参りますと、短期間でずいぶん状況の変化がありました。毎回、急な連絡となったにもかかわらず、保護者の皆さまには、的確なご対応をいただくとともに、温かいご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

この間、学校としましては、お子様の学習の保障と生活リズムの確保のため、毎日オンライン授業を配信して参りました。ここまで600本を超える動画数になります。また、高学年は、個人持ちiPadを活用しお子様と双方向のやりとりも実施して参りました。

オンラインでの学習は、私どもも初めての試みであり、対面式の授業とは異なる難しさも感じつつ試行錯誤しながらの実施でした。このオンライン授業を実施するに当たっては、さぞかしご家庭での保護者の皆さまのご尽力があったことと推察します。本当にありがとうございました。



さて、今後ですが、文部科学省のガイドラインに従い、感染防止に努めながら学校活動を実施して参ります。歌を歌うこと、人と接触の多い運動、向かい合っの給食など、これまで当たり前に行ってきたことに制限が加わります。しかしながら、「できないことばかりある」と考えるのではなく、「何ができるか」を考え、どうするこの状況下で充実した学習活動になるか、日々工夫して参りたいと考えています。私自身そうですが、オンライン授業を工夫して行ったことは、結果として授業の在り方、学習の在り方を見直す契機となりました。学校再開後の授業の工夫も、単に非常時限定の対応ということではなく、これからの学びの在り方の改善につながるものと考えております。

さて6月の生活指導目標はルールについて考えようです。まさにこの状況下で守らなければならないルールは何か、どうして守らなければいけないのかということ、子どもたちに考えさせたいと思います。ご家庭でも話題にしていれば幸いです。

